

リーブラ便り

2012年9月号 VOL. 39



リーブラのマークは、「男女平等」の願いをこめた「てんびん座（リーブラ）」をモチーフにしています。

目次

1. 平成25年度 団体育成事業・活動助成事業企画募集
 2. リーブラ・フェスティバル2013
 3. 第3回リーブラ特別展示 展示作品募集
 4. 講座案内（リーブラ主催講座・活動助成事業）
 5. 講座報告（リーブラ主催講座）
 6. 区民派遣事業 参加者レポート
 7. リーブラ相談室
 8. 男女平等参画情報
- ★別紙 9月の新着図書ご紹介



1. 平成25年度 港区立男女平等参画センター 団体育成事業・活動助成事業企画募集

団体のリーダー育成や企画・広報などの支援などを行う「団体育成事業」と、事業実施経費の一部助成などを行う「活動助成事業」の企画を募集します。

区内における男女平等参画の推進を区民の手でも広げていくための事業です。関係する事業の企画案を実現させたい団体・個人の方は、ご応募下さい。

- 募集期間：10月31日（水）午後5時 〔必着〕
- 対象：区内在住・在勤・在学あるいは区内で活動する団体・個人
- 備考：その他募集要項等に記した詳細事項などの様式一式を必ずご確認ください。様式はリーブラや港区役所の人権・男女平等参画担当係窓口で配布しているほか、ホームページからもダウンロードできます。

～本事業に関する説明会の開催について～

- 日時：10月1日（月）午後7時～、10月5日（金）10時～（同じ内容を2回開催。60分程度）
- 会場：リーブラ 3階 学習室E
- 申込：要事前申込。募集要項をご確認ください。

2. リーブラフェスティバル2013

毎年恒例のフェスティバルの準備がはじまりました。今年は、8月に実行委員会が立ち上がり、フェスティバルをより良いものにしようと、7名の熱意ある実行委員の皆さんが、知恵をしばりながら内容や運営方法など、全般にわたって議論しています。

【日程】2013（平成25年）
2月9日（土）、10日（日）

【テーマ】
「Have Fun みんなで楽しく！」

フェスティバルへの出展を申し込まれた団体のさまざまな内容にあわせて、展示、ホール、料理の各部会に分かれて検討を進めつつ、実施にむけた準備も行ってあります。

部会の枠を超えたコラボレーション企画にも力を入れて、より多くの皆さんにフェスティバルにご参加いただけるよう、取り組みを始めています！



3. 第3回 リーブラ特別展示 「女性に対する暴力をなくすため 私たちにできること ～リーブラから伝えるメッセージ～」

毎年11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。東日本大震災以降、様々な問題に私たちは直面しています。地域の防災、生活環境、地域とのつながりなど、女性・子ども・高齢者など社会的弱者の視点が、ますます重要になっています。みんなが生きやすい社会へむかって、何が必要なのかを考え、つながり、リーブラから共にメッセージを伝えましょう。

- 展示作品募集
- 内容：特別展のテーマにそった、団体活動紹介、展示作品（手芸、絵画、工芸など）。
- 参加申込書締切
10月31日（水）
- 作品提出締切
11月7日（水）
- 展示期間
11月15日（木）～28日（水）

- ふらっとリーブラ11月『リーブラカフェ & おしゃべり会with弁護士さん』
- 11月21日（水）
- 【カフェ】13:00～20:30
- 【おしゃべり会】
- ①13:30～15:30
- ②18:30～20:30

※詳しくは、裏面をご覧ください。

リーブラの講座などの情報は、詳しくはHPで。

リーブラ

検索



4. 講座案内 (リーブラ主催講座・活動助成事業)

リーブラ主催講座 著者が語る話題の本講座

～岡野幸江さんが語る～

『私たちの記憶—〈近代〉の解体と女性文学』

- 日時：11月2日(金)
- 会場：リーブラ 4階 学習室C
- 時間：19:00～21:00

■内容：話題の本を、その著者がわかりやすく解説する人気講座。本書は、明治・大正・昭和の女性作家とその作品をたどり、近代化の中で性別役割やジェンダーが固定された過程や、〈家族〉〈家〉の問題、女性の戦争責任など、女性をめぐる社会的な問題を読みといています。文学作品のストーリーを素材に、自身の経験に照らし合わせ、男女平等や女性問題、ジェンダーについて、あらためて考えてみませんか？初心者の方には、入門に。知識がある方には、新しい学術成果を学び、思索を深めるきっかけに、どうぞ。

《本書で、取り上げられている作品・作家》

【明治～大正】樋口一葉、『青踏』、自由民権運動家・福田英子【昭和】平林たい子、佐多稲子、宮本百合子【現代】有吉佐和子『華岡青洲の妻』、富岡多恵子『波うつ土地』、李良枝『由熙』、柳美里『家族シネマ』、川上弘美『龍宮』

- 参加費：無料
- 定員：30名(要予約・先着順)
- 申込：10月2日(火)から先着順受付。
- 保育：あり・無料※要予約(1歳から未就学児まで) 保育申込締切：10月19日(金)までに申込。

リーブラ主催講座

「仕事と子育て両立ナビ」

- 日時：11月17日(土) 13:30～16:00
- 会場：リーブラ 4階 集会室2・3

0歳児同伴
OK!

育児休業から復帰したり、再就職で保育園を利用して働くママ、パパ向けのセミナー。仕事と子育てをどうこなしていくか、不安な方も多いはず。保育園の基本的な情報、両立のノウハウをお伝えし、エールを送ります!

■講師：普光院亜紀さん(「保育園を考える親の会」代表)、区内保育園利用者の方

■プログラム

- 13:30～14:15 基本講義 普光院亜紀さん 「保育園、保育制度について」
- 14:15～15:00 先輩体験談 「入園体験談と両立について」
- 15:00～15:15 休憩
- 15:15～16:00 グループ相談会

- 参加費：無料
- 定員：40名(要申込・先着順)
- 申込：10月15日(月)から先着順受付。電話、FAX、Eメールで。
- ☆0歳児同伴参加を受付します。申込時に明記してください。
- 保育：あり・無料 ※要予約(1歳以上未就学児まで) 11月5日(月)までに申込。

リーブラ主催講座 「ふらっとリーブラ」11月『リーブラカフェ & おしゃべり会』

■日時：11月21日(水) with 弁護士さん!

■会場：リーブラ 3階 学習室E

- 【昼の部】①13:30～15:30 【お題：子どもとDV、デートDV】
- 【夜の部】②18:30～20:30 【お題：性暴力、パワハラ・セクハラ】



■内容：特別展示『女性への暴力をなくため』の会場内で、ゆっくりとおしゃべりを楽しみませんか?上記のお題を題材としたリーブラ所蔵のDVDを見たあと、参加者みなさんで、お題について自由なおしゃべりを楽しみます。

スペシャルゲストに、弁護士さんも参加。男女平等参画センターならではのテーマを、自分たちの言葉で、気軽に語り合しましょう。(※おしゃべりを楽しむ会です。弁護士による法律相談ではありませんので、ご了承下さい。)

- 参加費：無料
- 定員：各15名
- 申込：予約不要(先着順)。
- 保育：あり・無料 ※要予約(1歳から未就学児まで) ①13:30～15:30、②18:30～20:30 保育申込締切：11月6日(火)までに申込。

リーブラ・カフェ 13:00～20:30

同じ会場で、カフェをオープン。飲み物(温・冷)と色々な飴をご用意し、椅子やテーブルも配置します。展示をみながら、お子さま連れでほっと一息、仕事帰りにゆっくりとしてみませんか。

2012年度 活動助成事業

古居みずえ・写真展とお話会 〈瓦礫の中の女たち〉



主催：劣化ウラン廃絶みなとネットワーク

■内容：1988年よりイスラエル占領地をおとすれ、パレスチナ人による抵抗運動・インティファダを取材。パレスチナの人びと、特に女性や子どもたちに焦点を当て、取材を続けている古居さんの撮影した、逆境の中で生き抜く女性たちの写真30点を展示します。

お話会は、3.11東日本大震災や福島第一原発の爆発で被害に遭った女たちを取材し続けてのお話です。

(展示)

- 日時：10月14日(日)～10月28日(日) 9時～21時(日曜は17時、最終日は15時まで)
- 会場：リーブラ 3階 廊下

(お話会)

- 「福島とパレスチナの女たちに思いをよせて」
- 日時：10月27日(土)13時30分～16時
- 講師：古居みずえ氏(フォトジャーナリスト・ドキュメント作家)
- 会場：リーブラ 3階 学習室E
- 資料代：500円
- 定員：先着25名

■問合せ先 電話：03-3455-8640 宮口高枝(劣化ウラン廃絶みなとネットワーク)

5. 講座報告（リーブラ主催講座）

「仕事・生き方・“わたし”に出会う

夏の2DAYSインターンシップ2012

■実施日：8月20日（月）、22日（水）

■参加人数：22名（2日間延べ人数）

男女平等やジェンダーに興味があり、就職活動中、自分の生き方や働き方について考えている、イベントの企画をしてみたいなどなど、多様な思いから就業前の学生さんたちがリーブラ・インターンシップに参加してくれました。リーブラならではのインターンシップということで、学生さんたちに改めて「男女平等」について考え、また、生き方、働き方に対する様々な考えを持つ社会経験のある方や、地域活動にかかわる先輩方と交流することで、性別にとらわれない自分らしい生き方を考えるきっかけとなるようなプログラムを考えました。

<1日目>

デートDVについて学んでいます



リーブラや港区職員、活動団体さんの生き方働き方を聞いて、感心したり驚いたり…

<2日目>

自分だったらどんな企画をする？アイデアをまとめるためにグループであれこれ。



2日間を振り返り、自分の将来像や大切にしたいことを一人ひとりが発表

1日目は、男女平等に関わる法律・制度や、関連施設の役割、リーブラ職員の経歴や仕事に対する考えを知るセッションに始まり、デートDV（交際相手からの暴力）防止の啓発講座を受講しました。また、港区の職員や活動団体の方々をゲストに迎え、多様な人々と直接話す機会を設けました。2日目は、1日目の内容を踏まえ、学生自身で企画を練り、プレゼンテーションを行いました。

アンケートでは、「学校にいたるだけでは学べない生き方を知ることができてよかった」「男らしさ、女らしさという枠組みにおさまるのではなく、自分らしさを大切にすることが大事だということがわかった」「自分だけの意見ではなくて、いろんな人の意見がきけてよかった」などの感想があり、多様な考え方や生き方をそれぞれ受け止めてくれたようです。リーブラでは、今後も若い世代への発信や、若い世代との協働を実施していきます。

「ふらっとリーブラ」9月

「誰でも楽しめる♪ 世界に一つの「わたしの絵本」作り」

講師：牛嶋浩美
(絵本作家・イラストレーター)

■実施日：9月15日（土）

■参加人数：22名



絵・牛嶋浩美

当日は、4歳児から小学生、30代～40代の女性、子育て中のパパや、60代男性と、幅広い年代の方にご参加いただきました。2組の親子さんをはじめ、小学生のお友達同士、お一人で参加の方など、さまざまな組み合わせの方が、同じテーブルに座り、講師の牛嶋さんが作成したオリジナルの素材を使い、和気あいあいと絵本作りをしました。

初対面同士でも、熱心に絵本のページを作っているうちに、となりの方の作る様子をみたり、アイデアを交換したり、感想を語りあったり、自然と交流がはじまりました。

アットホームな雰囲気の中、おとなも子どもも、のりとはさみ、カラフルなおりがみを手、一枚一枚のページを楽しく作っていました。



最後の30分では、できあがった絵本をそれぞれ発表し合い、会場からは、笑いとお声、拍手があがりました。



(上) 完成した絵本を、みんなで発表すると、歓声や拍手があがりました。
(右上) 手作り絵本の表紙
(右下) 手作り絵本の中身

今回の絵本作りのテーマは「ありがとう」。親子で作った、世界に一冊だけの絵本。お父さんからお子さんへ世界に一冊だけの絵本。じぶんに贈る世界に一冊だけの絵本。どれも個性豊かな「ありがとう」の表現で、心のこもった一冊となりました。講座後のアンケートでは、「色々な気づきがあり、他の方の作品を拝見し、とても参考になりました」「全体的に和気あいあいとしてよかった。とてもいい雰囲気の中でできてよかった」との声も寄せられました。リーブラでは、おとなも子どもも、さまざまな年代の方が楽しめ、いろんな方と交流できる講座を、これからも開催します。お楽しみに！！

6. 区民派遣事業 参加者レポート

リーブラでは、区民の皆さまに男女平等参画への理解を深め、地域での活動に活かしていただく区民派遣事業を実施しています。

今回、国立女性教育会館（NWEC）で開催された事業に派遣区民として参加された菅賢太郎さんよりレポートが届きました。一部掲載いたします。

- 派遣事業：「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」
- 日程：8月24日（金）～26日（日）〔2泊3日〕
- 会場：国立女性教育会館（<http://www.nwec.jp/>）
- 派遣区民：菅 賢太郎 さん

NWECフォーラム（以下「フォーラム」という）への区民派遣に選ばれた以上、何かを得なければいけない！と鼻息荒く出発し、フォーラムが開催される「国立女性教育会館」へ向かった。

実際にフォーラムが始まると、そんな肩の力が入りまくっている状態が自然に抜けてしまい、なんだか楽しい3日間となった。他市の職員と飲みに行って実情をいろいろ話しあったりした事も楽しかった思い出。

男性参加者は予想通りかなり少なかった。主に研究者、公務員の方が多く、一般参加の男性は見かけなかった。今後、バランスの良い男女平等・共同参画社会になっていく上で、男性の果たす役割も多くなる。

一区民として男女平等参画に関してより理解を深め、地道に活動を続けていきたいと改めて思いを強くした。

（一部抜粋。全文は港区広報誌「Oasis」に掲載予定）

7. リーブラ相談室 心のサポートルーム便り

女性弁護士による法律相談がスタート！（月1回）

このたび、リーブラ相談室では、月1回女性弁護士による無料法律相談（面談）をスタートしました。

離婚やDV（ドメスティック・バイオレンス）、ストーカー、セクシュアル・ハラスメント、遺産や金銭問題、職場の問題など、どのような相談でも受け付けています。

法律相談は、港区在住・在勤・在学の方で、一般相談の面談をご利用された方が対象です。また、ご希望により法律相談にカウンセラーが同席したり、法律相談の後にフォロー相談を行うことも可能です。

法律相談のご利用の詳細は、相談室利用時間内に、専用電話にて相談員に直接お問い合わせください。

〔一般相談 開室曜日・開室時間〕

火曜日	16:00 ～ 20:00
水曜日	10:00 ～ 16:00
金曜日	10:00 ～ 16:00
金曜日	18:00 ～ 21:00



03-3456-5771（相談室専用電話）

※金曜日夜の時間帯もご利用いただけます。
相談は無料。面談は事前にご予約ください。
電話相談も可能です。ご予約もご相談も上記の利用時間内に専用電話あてにお願いします。

8. 男女平等参画情報 ～新型出生前検査・診断の意味と社会の課題～

8月末から9月頭の各紙の報道、あるいは9月16日にNHKで放映された「出生前診断 そのとき夫婦は」を見て、出生前診断について初めて知ったり、改めて考えたりした方がいるのではないのでしょうか。出生前診断とは、妊娠中に胎児の発達に異常がないか、特別な病気や障害がないかを検査することです。

今回「新型」と報道されたのは、妊婦の血液から胎児のDNAを調べ、ダウン症かどうか、99%の精度で確認できるというものです。報道の数日後に、日本産科婦人科学会が「専門家による検査前後のカounselingが必須であり（中略）安易な実施は厳に慎むべき」との声明を、また、財団法人日本ダウン症協会は「ダウン症のある人がその人らしく、普通に、安心して暮らせる社会」が実現することを望み、「診断がマススクリーニングとして一般化する（まるで義務のようになる）ことや、安易に行うことには断固反対」との見解を発表しています。

リーブラでは2010年に著者が語る「妊娠—あなたの妊娠と出生前検査の経験をおしえてください—」講座を行い、なかなか話されることのない出生前検査をめぐる女性の体験や思いについて報告していただきました。この『妊娠』の中でも、NHKの番組の中でも、日本社会の中で「障害」を持つ当事者と家族の困難さが語られており、出生前検査・診断とその後の選択が「個人（特に女性）の責任」に任せられていても、そこに社会の状況が強く影響していることがわかります。社会を構成する多様な人々の人権がどのように保障されるか、社会全体の問題として議論されていくことが重要ではないでしょうか。

●休館日情報● 10月は休まず開館いたします。次の休みは、年末年始休暇（12月29日～1月3日）の予定です。



男女平等参画センター「リーブラ」3～5階

発行元	港区立男女平等参画センター リーブラ
住所	〒108-0023 港区芝浦3-1-47
TEL	03-3456-4149
FAX	03-3456-1254
HP	http://www.minatolibra.jp/
施設利用時間	月～土曜日 9:00～21:30 日曜日 9:00～17:00 * 祝日の場合の営業については、上記の曜日・時間に準じます。
窓口受付時間	月～土曜日 9:00～20:00 日曜日 9:00～16:00

発行日：2012年9月20日